

青南幼稚園より 11月 南幼稚園だり

平成25年 10月31日

園長 茂木 尚子

つながりのある教育の実践

10月19日(土)の親子運動会には、多数のご参加ありがとうございました。各学年の内容は、日頃の遊びや生活の中で、幼児が興味をもち楽しんでいることを基に、幼児と担任が創り上げてきたものです。学級の幼児の興味に沿ったものだからこそ、主体的な活動として意欲的に取り組むことができたのだと思います。5歳児は、曲の一部分(64呼間)の振り付けをグループの友達と相談して、オリジナルの踊りを完成させました。一つの踊りに決定するまでには紆余曲折があったようですが、何度も話し合い、折り合いをつけてグループのみんなが納得した踊りに決まった時、自分たちの踊りを創り上げた喜びと満足感に浸ることができたと思います。青南幼稚園は何年も協同性の育ちについての研究を続けてきましたが、協同性の育ちにつながる実践の一端を皆様に見ていただくことができたのではと思います。

さて、練習の過程や運動会当日、3・4歳児は、5歳児の踊りにとても興味を示し、憧れの気持ちで見つめていました。「やってみたい！踊りたい！」という3・4歳児の気持ちの高まりを受け止めて、担任同士相談し、運動会后、5歳児が3・4歳児に教える機会をつくることにしました。5歳児は、ペアになった3・4歳児に自分の海賊の衣装を貸し、優しくリードしながら2日間に分けて教えました。隊形移動もある難しい踊りですが、3・4歳児のやる気は高く、5歳児の真似をしながら嬉しそうに踊ることができました。その後3・4歳児も5歳児に自分たちのおばけの踊りと忍者の踊りを教えました。とても誇らしげに張り切って教える3・4歳児の姿や笑顔で踊る5歳児の姿が見られました。

憧れの気持ちを持ち、そのようになりたい、やりたいという思いは、強力な動機づけとなり、行動の原動力になります。異年齢の友達に教え教えられ、互いに刺激し合いながらたくさんの体験をすることを丁寧に積み重ねて、子供たちの豊かな学びにつながる教育を確実に実践しています。今年度の園内研究会のテーマ「異年齢のつながりを深めるための指導計画の作成」に向けて教員が協働して取り組んできたことが、子供たちの成長した姿として実を結んでいることを改めて実感できた運動会後の日々です。

親子運動会のリズム



3歳児:おばけがやってきた



4歳児:ちびっこ忍者たち



5歳児:めざせ たからじま



運動会后、5歳児が踊りを教える

3歳児 ○同じ場の友達や先生と一緒に遊ぶことを楽しむ。

○作ったものを使って遊んだり、自分の思うように自由に描いたり作ったりすることを楽しむ。

○自分の遊んだ場所を自分で片付けようとしたり、身の回りのことを自分でしようとしたりする。

4歳児 ○自分の思いを言葉や動きに表わしながら、友達とかかわって遊ぶ。

○いろいろな材料を使い、いろいろな方法で描いたり作ったりすることを楽しむ。

○落ち葉や木の実で遊びながら、秋の自然の移り変わりを感じていく。

5歳児 ○様々な材料を使って自分のイメージしたことを表現したり、グループの友達と目的を共有しながら一緒に作り上げたりしていく楽しさや満足感を味わう。

○葉の色の変化や美しさを感じたり、自分たちが育てている球根の生長に気付いたりして、秋の深まりを感じる。